

おおむた 市議会だより

第187号

平成25年度 第4回定例会

平成26年(2014年)2月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成21年5月以降

1位を猛追する大牟田高校(右から2人目)
(第64回全国高等学校駅伝競走大会 京都市)



【主な記事】

- 議会報告会での意見要望の概要/ぎかいのわだい(2・3ページ)
- 「えるる」を安心して利用するために!!/ぎかいのわだい(4ページ)
- 全国大会準優勝を大牟田高校駅伝部が振り返る/おおむた自慢(12ページ)

も
く
じ

■ぎかいのわだい 2

議会報告会での意見要望の概要、委員会メモ、「えるる」
を安心して利用するために!!、筑後六市議会議長会議員
研修会、視察受入

■本会議運営のあらましほか 5

第4回定例会、議案等の審議結果

■代表質問(4人) 6

平山伸二議員、平山光子議員、塚本二作議員、橋積和雄議員

■一般質問(5人)ほか 10

大野哲也議員、森田義孝議員、田中正繁議員、徳永春男
議員、光田茂議員、議会日誌、インフォメーション

■連載 おおむた自慢ほか 12

おおむた自慢「全国大会準優勝を大牟田高校駅伝部が
振り返る」、編集後記



議会報告会での意見要望の概要

■分類①

市行政に関する発言であり、市民の意見として、関係する委員会で継続的に検討を行う方がよいとするもの。検討後は、市当局につながるか、または委員会として市長等へ要望及び提案を行うことにするもの。その後は、市当局からの回答を求めるもの。

- ・市立学校の環境改善に関すること

■分類②

市行政に関する発言であり、発言の趣旨を摘録にして議員で供覧を行うとともに市当局につながる方がよいとするもの。

- ・世界遺産登録推進、近代化産業遺産に関すること
- ・地域住民組織に関すること
- ・道路の維持管理に関すること
- ・治水対策に関すること
- ・草刈りに関すること
- ・学校給食に関すること
- ・学校再編に関すること
- ・その他

■分類③

議会に関する発言であり、市民の意見として、関係する委員会で継続的に検討を行う方がよいとするもの。検討後は、議会としての考えをまとめるもの。

- ・議会報告会の周知・運営等に関すること
- ・議会の活動サイクルに関すること

■分類④

議会に関する発言であり、発言の趣旨を摘録にして議員で供覧を行う方がよいとするもの。

- ・議会報告会に関すること
- ・議会・議員の姿勢や取り組みに関すること
- ・世界遺産登録推進、近代化産業遺産に関すること
- ・市行政の取り組みに対する議会の対応に関すること

教育環境の改善や地域 今後の議会活動に



教室へのエアコン設置は決算特別委員会でも要望しました

平成25年度の議会報告会は、9会場で延べ207名の参加があり、新たな意見要望などをたくさんいただきました。

意見は左記のとおりに分類・集約し、特に教室のエアコン設置に関する意見は、9月の決算特別委員会で最重要の要望として合意形成を図り、市長へ改善を求めました。

寄せられた意見を 今後に活かします

分類①②

市行政に関する発言について

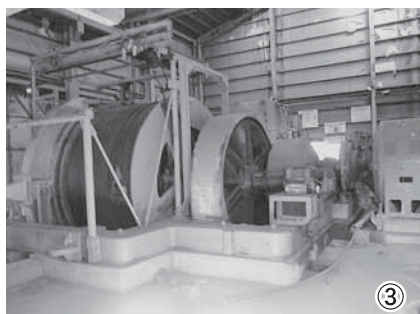
分類①の市立学校の環境改善に関することについては、「気温の上昇により学校の環境が悪化しており、子供の健康面からも空調は必要であると思う。教室に空調設備を設置してほしい」というものですが、前号の議会だよりもに掲載した通り、決算特別委員会で最重要の要望として合意形成を図り、小中学校の普通教室へのエアコン設置を要望しており、間もなく市

長からの回答が得られることになっています。

分類②については、「防犯灯の電気料金については、公平に費用を負担するシステムを検討してほしい」「安全確保のためガードレールを設置してほしい」「治水対策を急いでほしい」「草刈りの指導をしてほしい」などの日々の生活に密着した切実な要望などが、数多く寄せられました。また「中学校給食を市民にアピールしてほしい」「学校再編により避難所が減っている」等、学校給食や具体的な学校再編に関する意見要望なども出されました。



の課題などの貴重な意見を 活かしていきます



- ①27年度からはセンター方式による
中学校給食がスタートします（画像
は給食センターイメージ図）
- ②避難所の役割も果たす学校の体育館
- ③近代化産業遺産に関する意見も出
されました（画像は三川坑跡）
- ④夜道の安全を守る防犯灯
- ⑤議会報告会に対する意見も出され
ました

分類③④

議会に関する発言について

分類③では「参加者の増加のため広報車を活用したらどうか」「報告内容は事後報告でなく、市民生活にどう関わるのか説明してほしい」という議会報告会の周知・運営に関することや「決算特別委員会を前倒しできないか」など、議会の活動サイクルに関する意見要望が出されました。

分類④では「地域の問題点を話し合う機会を作してほしい」「資料の事前配布を検討してほしい」など、議会報告会に関することや

「介護事業所のチェックを適正にしてほしい」「日頃の議員の活動が見えない」など、議会・議員の姿勢や取り組みに関すること、さらに「地方交付税の返還に対する議会の追及は？」「新大牟田駅の観光プラザ設置に対する議会の取り組みは？」など、市行政の取り組みに対する議会の対応についても、多くの意見が出されました。

これらの貴重な意見は今後の議会活動でも活かしていきます。

委員会メモ

世界遺産登録へのスケジュール

〔総務委員会〕

政府推薦が決定した「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」は、26年8～9月頃のイコモス（国際記念物遺跡会議）の現地調査を経て27年6月頃のユネスコ世界遺産委員会で登録可否が決まる旨の説明を25年12月5日に受けました。本市構成資産は宮原坑、三池炭鉱専用鉄道敷跡、三池港です。

まちづくり基本条例

〔市民教育厚生委員会〕

25年11月25日の委員会で、同条例制定に向けての報告を受けました。これは、市民と行政が互いにまちづくりの理念を共有し、持続的に協働のまちづくりを推進していけるよう、基本的な考え方やルールを明文化し、市民の市政運営への参加と協働の促進を図っていくものです。

動物園展望デッキ

〔都市環境経済委員会〕

25年12月5日の委員会で、大牟田市動物園展望デッキ整備の進捗状況について説明を受けました。



イメージ図

目的を見失わずに継続した取り組みを

〔議会改革特別委員会〕

任期満了まで約一年となりましたが、市民の誰もが豊かな市民生活を実感できるように、これまでの議会改革の取り組みを振り返り、反省すべき点は改善し、議会機能のさらなる充実・強化を図っていきます。



「えるる」を安心して利用するために!!

安全面の観点から議会も指摘



25年10月に、市民活動等多目的交流施設「えるる」が新栄町にオープンしました。子供から高齢者まで誰もが集い、交流し学べる場所として、また中心市街地ににぎわいを創出し、まちなかから元気を発信することを目的とした施設です。1日平均で174人の利用がっており、その期待も高い一方、今後の管理運営も重要です。

市議会も、設計の段階から、本会議や決算特別委員会などの場で、安全面などの観点から様々な指摘、

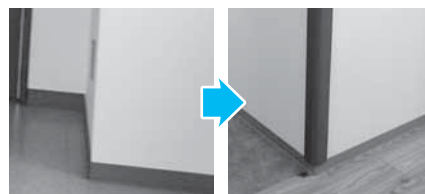
要望を行ってきました。この結果、一部ではあるものの改善・改良されました。

よりよい施設となるよう、今後も利用者の皆さんの声を行政に届けていきます。

◎「えるる」はこんな施設◎

- 【1階】市民活動サポートセンター、プレイルーム、談話コーナー、情報展示コーナー
- 【2階】多目的ホール、小・中研修室
多目的ホールはバドミントン、卓球、社交ダンス、講演会等に、小研修室は各種講座や研修会に利用できます。中研修室は「個人学習の場」としても開放しています。
- 【3階】音楽室、創作室、料理室、和室
趣味のサークル等に利用できます。

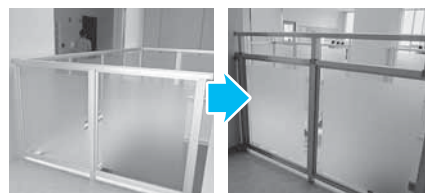
主な改善箇所（右が改修後）



プレイルームの柱に緩衝材を取り付け



和室入口の段差に手すりを設置



吹き抜けに面する手すりを高く



トイレは洗浄機付きに

異常気象を理解し、災害に強いまちを目指す

120人の市議が大牟田で研修



25年11月15日に、筑後六市議会議長会議員研修会を、大牟田市を展望できる「おおむたハイツ」で開催し、約120人が参加。福岡管区気象台より講師を招き、最近の異常気象について学びました。

同会は大牟田、みやま、筑後、

八女、大川、柳川の6市議会で構成。持ち回りで研修会を開催しています。

今回はゲリラ豪雨や竜巻により全国各地で被害が出たことや平成24年の九州北部豪雨災害などから最近の異常気象について理解を深めようと、福岡管区気象台技術部気象防災情報調整官の大場仁治氏を講師に招き、研修会を行いました。

行政視察受入(10月~12月)

月日	団体名	視察項目
2	愛知県一宮市議会	下水処理場等の包括的維持管理業務委託、ありあけ浄水場
10	岐阜県岐阜市議会	高齢者等SOSネットワーク
16	山形県米沢市議会	学校再編の取り組み
18	岡山県津山市議会	国民健康保険医療費抑制に向けた取り組み、住基カードを利用した証明書等コンビニ交付サービス
21	福岡県うきは市議会	大牟田リサイクル発電所(RDF)
24	神奈川県藤沢市議会	次世代エネルギーパーク
29	千葉県印西市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
30	京都府久御山町議会	中学校給食
30	北海道旭川市議会	大牟田市立病院
30	福島県本宮市議会	下水道施設長寿命化計画
11	岡山県瀬戸内市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
6	東京都台東区議会	住民票などのコンビニ発行

月日	団 体 名	視 察 項 目
11	6 千葉県市川市議会	公共事業コスト構造改善プログラム
	7 山口県宇部市議会	大牟田市市民活動等多目的交流施設「えるる」
	8 岡山県備前市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	12 大阪府池田市議会	ありあけ浄水場
	19 大阪府高槻市議会	市営新地東ひまわり住宅
	秋田県北秋田市議会	介護予防事業
	20 石川県白山市議会	九州新幹線による影響、予算特別委員会と議会報告会
	22 福岡県直方市議会	し尿処理場(大牟田市東部環境センター)
	25 岩手県八幡平市議会	地域コミュニティ基本指針、市民活動補助制度、子育てサポーター登録制度
	26 北海道空知産炭地議員連絡協議会	三池炭鉱閉山後のまちづくり、定住自立圏構想の取り組み、議会基本条例
12 24	東京都世田谷区議会	認知症対策



本会議運営のあらまし

指定管理者の指定（市営住宅） 議案など審査

平成25年度第4回定例会は、12月9日に招集され、12月20日までの12日間の会期で運営しました。

今議会で審議した議案等は、消費税率の改正に伴う手数料等の見

直しを行う条例案、市営住宅の指定管理者の指定などの議案23件、諮問1件、意見書案の発議9件、請願1件の計34件でした。

本会議では、中心市街地活性化、教育行政等の諸課題について、各会派の代表質問4名を含む9名の

議員が登壇し、市長、当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案4件、請願1件を除いた議案、意見書案、諮問を、それぞれ可決、同意または異議なき旨答申して、本定例会を閉会しました。

平成25年度大牟田市議会第4回定例会 議案等の審議結果一覧

議案等名			会派等名							賛成数	審議結果
			自民	公明	護憲	共産	無所属	城後正徳議員	吉田康孝議員		
			8人	5人	5人	3人	猿渡軍紀議員				
議案	第55号	平成25年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第56号	平成25年度大牟田市財産区特別会計予算	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第57号	大牟田市公害健康被害認定審査会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第58号	大牟田市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第59号	大牟田市職員退職手当条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第60号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第61号	消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	×	○		○	20	多数可決
	第62号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○		○	20	多数可決
	第63号	大牟田市障害者計画推進委員会条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第64号	大牟田市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第65号	大牟田市大規模集客施設制限地区内における建築物の制限に関する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第66号	大牟田市飼い犬の管理及び野犬の取締りに関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○		○	20	多数可決
	第67号	大牟田市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第68号	大牟田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第69号	大牟田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第70号	大牟田市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第71号	指定管理者の指定について（大牟田市花ぶらさ館）	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第72号	指定管理者の指定について（大牟田市諏訪公園）	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第73号	指定管理者の指定について（大牟田市営住宅）	○	○	○	×	○		○	20	多数可決
	第74号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
諮問	第75号	財産の処分について（旧大牟田市立諏訪小学校用地の一部）	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第76号	地方独立行政法人大牟田市立病院第2期中期目標について	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第77号	大牟田市公平委員会委員の選任について（泉 博士氏）	○	○	○	○	○		○	23	同意
	第2号	人権擁護委員候補者の推薦について（高松雅明氏）	○	○	○	○	○		○	23	異議なし
	第17号	過疎対策の積極的推進を求める意見書案	○	○	○	○	○		○	23	全会可決
	第18号	消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書案	○	○	○	×	○		○	20	多数可決
	第19号	企業減税等から確実な賃金引き上げを求める意見書案	○	○	×	○	○		○	18	多数可決
	第20号	介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書案	×	○	×	×	×		×	5	少数否決
	第21号	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書案	×	×	○	○	×		×	8	少数否決
	第22号	発達障害児・者の生活環境充実を求める意見書案	×	○	○	○	×		×	13	多数可決
発議	第23号	新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書案	○	○	×	×	○		○	15	多数可決
	第24号	ブラック企業規制法の制定を求める意見書案	×	×	○	○	×		×	8	少数否決
	第25号	介護保険の給付対象から要支援者を外さないように求める意見書案	×	×	○	○	×		×	8	少数否決
	第2号	保険薬局への無料低額診療事業に関する請願	×	×	○	○	×		×	8	不採択

会派名称	所 属 議 員（★は会派代表）
自由民主党議員団	光田 茂★、入江裕二郎、境 公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清（議長）、森 竜子、山口雅弘
公明党議員団	大野哲也★、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子
社民・民主・護憲クラブ	松尾哲也★、平嶋慶二、平山光子、古庄和秀、森田義孝
日本共産党議員団	高口講治★、北岡あや、橋積和雄

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求め、反対の意思のある議員の態度を確認することはありません。

本表については、起立した会派（または議員）を○と表記し、着席の会派（または議員）を×と表記しています。なお、空白は欠席または表決の棄権を表します。また、議長は採決に加わることはできません。



若者が地元で働ける 環境づくりを



公明党議員団
平山 伸二 議員

12月13日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 国の政治動向と本市の未来への展望
- 2 地域コミュニティの形成について
 - (1) 大牟田市まちづくり基本条例と校区まちづくり協議会活動拠点確保事業
- 3 市営住宅の指定管理について
- 4 災害に強い安心・安全のまちづくりについて
 - (1) 消防団員の募集
- 5 ペットの飼育について
 - (1) 改正動物愛護管理法に伴う本市条例化の必要性

市長の政治姿勢について

国の政治動向と 本市の未来への展望

問 市長が考えるまち再建の達成の姿はどのような姿なのか。

答 市長に就任後策定した総合計画2006～2015に掲げる本市が目指す三つの都市像に近づいた姿がまち再建の姿と考えている。

問 まち再建の大きな柱の一つに若者が地元で働ける環境づくりが挙げられると思う。企業誘致の推進に向けた取り組みを聞きたい。



大牟田テクノパーク

答 企業誘致は雇用の創出、税収確保、産業構造の多様化、地場企業の取引拡大等に寄与するなど、地域経済の活性化の上で最も重要な施策の一つと考えている。企業誘致を推進するため、本市のよさを十分にPRし、企業立地アンケートの実施とその結果に基づく企業訪問を行い、全力を挙げて取り組んできた。今後も本市が九州の中心に位置する地理的な優位性、災害が少ない安全性、有明海沿岸道路などの交通インフラに加え、

24年8月に追加指定を受けたグリーンアジア国際戦略総合特区の法人税軽減措置などの支援メニューをPRし、企業誘致の推進を図り、雇用の創出、地域経済の活性化を図りたい。

地域コミュニティの形成について

大牟田市まちづくり 基本条例と校区まちづくり 協議会活動拠点確保事業

問 まちづくり基本条例について市長の見解を聞きたい。

答 まちづくり基本条例の制定は、これからのまちづくりのあるべき姿や協働の主体となる市民、行政などの役割、協働のまちづくりを推進するための制度・仕組みなどを条例へと結実させるものである。

まちづくり基本条例を制定することにより、まちづくりの主体である市民と行政などの協働によるまちづくりが一層促進されるとともに、この条例がこれからの持続的なまちづくりのよりどころとなることを期待している。

市営住宅の指定管理について

問 市営住宅における指定管理の業務は、一般的な施設とは違い、どのような業務範囲になるのか。

答 公営住宅法に基づき、家賃や敷金の決定及び入居者資格の決定、

明け渡し請求などは事業主体の市の業務として規定している。

指定管理者に委託する業務は、募集申し込みの受け付けや入退去に関する事務手続、入居者からの各種申請受け付け業務、家賃の収納に関する納付指導及び収納業務、点検や修繕などの建物の管理を予定している。

災害に強い安心・安全のまちづくりについて

消防団員の募集

問 消防団員の必要数、現状と課題、現在の取り組みを聞きたい。

答 条例定数700名に対し、25年11月末現在642名となっている。

団員の就業形態が変化しており、今後は雇用されている方が入団しやすく、活動しやすい環境整備が重要である。国が推奨する消防団協力事業所表示制度の規定を整備し、団員確保の体制を整えたい。

ペットの飼育について

改正動物愛護管理法に伴う 本市条例化の必要性

問 国の動物愛護管理法に合わせ、本市でも新たな条例制定の必要性があると思うがどうか。

答 新しい条例の制定については、他都市の状況等も研究したいと考えている。



不登校・ひきこもりの事態は深刻 継続した支援の体制整備を



社民・民主・護憲クラブ
平山 光子 議員

12月13日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について（1）特定秘密保護法と市政運営（2）消費税増税と次年度予算
- 2 新電力（PPS）の導入について
- 3 不登校・ひきこもりへの支援について（1）不登校の現状と支援（2）ひきこもりの実態と支援の仕組み（3）不登校・ひきこもりへの継続した支援
- 4 求められる学力と教育行政の役割について（1）次代を生きる力（2）競争教育と全国学力テスト結果の公表
- 5 下水道事業について（1）生活排水対策の将来展望（2）受益者負担金（3）下水汚泥によるバイオマス発電の検討

不登校・ひきこもりへの 支援について

不登校の現状と支援

問 本市の不登校は、昨年度が小中学生合わせて197名と、大変厳しい状況であり、さらに支援を充実する必要があると考える。市教委の見解と支援の状況は。

答 全国平均に比べて出現率が高い状況で、大きな課題と認識しており、重点事業に掲げて取り組みを推進している。学校内や関係機関と連携した取り組みの充実とともに、児童会・生徒会活動を充実させ、子供みずから支え合う雰囲気づくりを推進したい。

ひきこもりの実態と 支援の仕組み

問 市のひきこもり状況の把握は行われているのか。

答 内閣府の調査では、全国で約70万人と推計されている。本市で実態調査は行っていないが、国・県の推計値からかなりのひきこもり状態の人がいると推測している。

問 市として第1次相談窓口を設置すべきだと思えるが見解は。

答 福祉課で保健師がひきこもりの相談も受けており、筑後若者サポートステーションサテライト大牟田もあるので、連携しながら配慮していきたい。

不登校・ひきこもりへの 継続した支援

問 うきは市で成果が見られるように、不登校・ひきこもりの継続した支援体制が必要ではないか。

答 福祉課の対応やサテライト大牟田とも連携して進めていきたい。

求められる学力と 教育行政の役割について

競争教育と 全国学力テスト結果の公表

問 国では指針が見直され、市町村の判断で学校別結果の公表ができることとなったが、競争激化や序列化に繋がると懸念している。市教委の考えは。

答 教育上の配慮に十分留意し、県教委の動向も踏まえ、校長会との連携を図り慎重に検討していく。



市長の政治姿勢について

特定秘密保護法と 市政運営

問 この法律は、基本的人権を著しく侵害する恐れがあるが、国民への納得いく説明が果たされないまま混乱の中採決された。市政運

営を預かる長として市長の見解は。

答 国として安全保障上必要で、国民への影響は限られると思うが、国民の知る権利とのバランスを考慮した仕組みづくりなどが求められる。国の動向を注視したい。

消費税増税と次年度予算

問 景気が回復しているとして消費税増税が行われることになったが、地方の実感とかけ離れている。市長の見解は。

答 様々な数値には回復傾向が現れている。その効果が地方にも及ぶことを期待している。

新電力（PPS）の 導入について

問 導入状況と経費削減効果は。

答 平成25年10月から、本庁舎南別館、地区公民館等社会教育施設9施設、市内小中学校33校で導入しており、全施設で約782万円の削減効果になると期待している。

下水道事業について

受益者負担金

問 受益者負担金における高額負担への対応と市民周知への考えは。

答 現在、高額負担への対応策を検討・研究している。また、親切丁寧な説明と周知に努めていく。



行政及び議会の決断力・ 実行力が問われている



自由民主党議員団
塚本 二作 議員

12月13日 一問一答方式により質問

- 1 有明圏域（4市2町）定住自立圏形成の加速化について（1）人材の育成・交流の現状と課題（2）共生ビジョン推進体制の現状と課題
- 2 将来を託せるたくましい子供の育成（あめとむち）について（1）全国学力・学習状況調査結果公表の意志の有無とその課題（2）子ども見守り隊活動の現状と支援策の状況
- 3 市長の政治姿勢について（1）市政与党の概念と予算編成上の対議会関係（2）市民満足度調査の実施
- 4 新年度予算編成と財政構造の強化について（1）予算編成方針と編成の進捗状況（2）正確な歳入見積りと適切な予算配分（3）アベノミクスによる本市財政への影響

有明圏域（4市2町）定住自立圏形成の加速化について

人材の育成・交流の 現状と課題

問 既に共生ビジョンも出来たが、これはスタートラインであり具現実行することが本番。上記の現状と課題について聞きたい。

答 まずは管理監督職員のマネジメント能力の向上と圏域を構成する市町での職員間のネットワークの構築が必要。新任課長等を対象とするマネジメント研修、主査や係長を対象とするコーチング研修を合同で実施した。

人材の交流については、26年度からの実施に向け関係自治体と具体的な協議を進めている。



合同でのコーチング研修
(画像は24年度実施のもの)

将来を託せるたくましい子供の 育成（あめとむち）について

全国学力・学習状況調査結果 公表の意志の有無とその課題

問 努力した子供には評価を与え、努力が足りなかった子供には叱咤激励を与えるのも大人の責務と考えるが、上記の調査結果公表の意志の有無とその課題を聞きたい。

答 目的や教育上の配慮に十分留意するとともに、今後の県教育委員会等の動向も踏まえ、校長会との連携を図り慎重に検討したい。

子ども見守り隊活動の 現状と支援策の状況

問 上記について聞きたい。

答 市内全ての小学校区において結成されており、子ども見守り隊活動連絡協議会という全市的な組織もつくられている。協議会結成5周年を記念し、ベスト、帽子、横断の旗の備品等を寄贈したほか、活動の際に事故が起きた場合は、市民活動補償制度の対象として補償するなどしている。

市長の政治姿勢について

市民満足度調査の実施

問 いかに知恵を絞って有効だと考える諸施策や事業も、市民が幸せや満足を得られなければ、まさに税金の無駄使い。この際、体系的で簡潔にした形式の満足度調査を実施してはどうか。

答 市民の声を聞くため、直接意見交換するまちづくり市民懇談会を開催しているほか、市民意識調査、毎年のまちづくり市民アンケートなどを実施しており、市民の幅広い声を聞きながら行政運営に努めていきたい。

新年度予算編成と 財政構造の強化について

予算編成方針と 編成の進捗状況

問 25年度と26年度の予算編成方針はどこが違っているのか。また査定の時期は。

答 基本的な考え方は前年度と変わらないが、将来に向けた積極的な投資ではまちづくり特別枠を継続するとともに、別枠として地域の元気臨時交付金基金の特別枠を設け、26年度に行う公共事業の財源として活用する。

市長査定については、例年同様1月中旬以降に行う予定。

正確な歳入見積りと 適切な予算配分

問 国の税制に左右される地方消費税交付金の歳入見込みは。

答 現在の消費税5%のうち1%が地方消費税となっており、総額を県と市町村が折半し、各市町村に対しては人口と従業員数の割合によって配分される。24年度の決算額では約11億7,400万円。

消費税率が8%に改正されると、内訳は消費税が6.3%、地方消費税が1.7%だが、交付金が単純に1.7倍になる訳ではない。

減収補填措置の有無も現段階ではわかっていないが、地方財政対策の中では明らかになると思うので注視していきたい。



市民生活を支え、地域経済を 元気にする新年度予算編成を



日本共産党議員団
橋積 和雄 議員

12月16日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について（1）特定秘密保護法への見解（2）消費税増税による市民生活などへの影響と消費税増税関係条例案（3）市民生活向上に向けた新年度予算編成状況
- 2 市民負担軽減の取り組みについて（1）介護保険事業（2）国民健康保険事業
- 3 中心市街地活性化について（1）新栄町駅前地区市街地再開発事業（2）まちづくり基金事業
- 4 子ども・子育て支援新制度について
- 5 市営住宅への指定管理者制度導入について
- 6 医療機関・高齢者施設の防火・防災対策について

市長の政治姿勢について

特定秘密保護法への見解

問 国民の知る権利、市民生活の安全を守る立場から反対の意思を。

答 国民の知る権利が制約される懸念があるとの声もあり、今後の国の動向に注視したい。

消費税増税による市民生活などへの影響と消費税増税関係条例案

問 貧困と格差が拡大し、倒産・廃業する事業者が続出する。市民生活・地域経済への影響は。

答 国では増税による駆け込み需要と反動減や低所得者に与える負担の影響などを予想。地域経済にも同様の影響があるものと認識。

市民生活向上に向けた 新年度予算編成状況

問 市民生活や営業の実態をどう捉え、予算編成に取り組んでいるか。

答 国の経済対策等を積極的に活用し、雇用対策や地域経済活性化策に取り組んできた。今後も市民生活の向上に向けたさまざまな対応をしていきたい。

市民負担軽減の 取り組みについて

介護保険事業

問 サービス制限など制度見直し

への見解、対象となる要支援者数と特養の待機者数を聞きたい。

答 介護予防ケアマネジメントを強化してきた。高齢者が要介護状態とならないよう、サービスのあり方や対応策を検討したい。

◇要支援1・2の認定者数

要支援1=1,250名 要支援2=939名
計2,189名

◇特別養護老人ホームの待機者数

要介護1=139名 要介護2=181名
計320名（総待機者979名）
※数値はともに2013年10月

国民健康保険事業

問 市民負担軽減の取り組みと保険税引き上げの検討状況は。

答 20代、30代の健康診査の実施などに取り組んだ。

税率改正は、医療費の推移、国の制度改正、診療報酬改定の動向などの把握に努め、判断したい。

中心市街地活性化について

新栄町駅前地区 市街地再開発事業

問 計画が遅れているが、その原因と今後の取り組みは。

答 整理すべき課題があり、推進計画の取りまとめができていないため、来年度の県補助金の活用が見込まれず、事業を延伸した。

現在、事業の成立性・確実性を見据え、保留床の価格や財源確保

などに留意し検討を進めている。

子ども・子育て 支援新制度について

問 上記については、全ての子供の権利を保障する観点から十分な議論と準備が必要。制度実施に当たっての基本的な考えと本市における課題について聞きたい。

答 給付の創設で地域の子供や子育て中の保護者の一層の支援になると考えている。市民や事業者に不安・不利益が生じないように遅滞なく取り組むということが大きな課題と考えている。



市営住宅への指定管理者 制度導入について

問 市が果たすべき公的役割の後退を危惧する。個人情報等を絶対守れると言えるのか。

答 民間の活用で、効率的・効果的な管理運営を行い、住民サービスの向上と経費の縮減を図るもの。情報セキュリティに十分注意しながら、業者と連携し、情報が漏れないように取り組んでいく。



一般質問



成年後見センターを設置して やさしさあふれるまちへ

公明党議員団 大野 哲也 議員

12月16日 一問一答方式により質問

- 1 高齢社会への対応について (1) 地域包括支援センターの充実 (2) 総合相談・権利擁護事業の充実に向けた市民後見人の育成及び成年後見センター設置の検討 (3) 緊急通報システム等のあんしん見守り事業
- 2 障害福祉について (1) 知的障がい児・者医療支援の推進 (2) 障害者優先調達推進法への対応
- 3 総合型地域スポーツクラブの育成について

成年後見センター 設置の検討

問 成年後見センターの設置について市長の考えを聞きたい。

答 本市において成年後見制度のニーズは、非常にあるという認識は持っている。

課題や問題点についても解決できそうであることからセンターの設置に前向きに取り組んでいきたい。

地域包括支援センターの充実

問 地域包括支援センターの充実とは何を指して掲げているのか具体的に示されたい。

答 4カ所から6カ所への数の充実もあるが、やはり中身が一番大事だと考える。

このため、各所と連携を取りながら内容も体制も充実を図っている。

知的障がい児・者 医療支援の推進

問 医療支援プロジェクトでは、今後の医療支援体制に向けての取り組みとして、重点的に5項目を掲げて展開されているが、市はこの活動に協力する考えはあるか。

答 行政職員もプロジェクトに入っており、今後も一緒になって取り組みを進めていく。



快適住マイル改修事業の さらなる拡充を

社民・民主・護憲クラブ 森田 義孝 議員

12月16日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢とまちづくりについて (1) 今後2年間の重点施策の展開と今後のまちづくり (2) 三川鉱炭じん爆発50年式典を終えて (3) 中心市街地の活性化 (4) 快適住マイル改修事業の今後
- 2 公契約条例について (1) 公契約の条例化の推進
- 3 学校給食事業について (1) 中学校給食の運営・管理 (2) 小学校給食調理室のエアコン設置
- 4 清掃事業について (1) ごみ収集の祝日対策
- 5 消防行政について (1) 筑後地域消防指令センターの現況

快適住マイル 改修事業の今後

問 市民・事業者に好評であった上記事業の26年度予算での対応について聞きたい。

答 この事業は地元の中小企業及び地域の経済活性化を図るとともに、市民の住環境向上に一定の効果があると認識しており、来年度も引き続き取り組んでいきたい。

学校給食事業について

問 中学校給食センターの管理・運営について聞きたい。

答 中学校給食実施方針の基本方針及び中学校給食検討会議の提言等を踏まえ、「安全でおいしい給食の提供」を第一義的に考え、27年4月からの円滑な実施に向け、早急に検討を進めたい。

清掃事業について

問 ごみ収集が、25年度の祝日において、月・木曜日収集と火・金曜日収集地域では、収集回数不公平が目立った。今後のごみ収集における祝日対策を聞きたい。

答 公平な公共サービスの提供を行うため、年度ごとの祝日対策について、現在、検討を行っている。



シティセールスと小中一貫教育 への対応について

自由民主党議員団 田中 正繁 議員

12月17日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について (1) 市政公約と総合計画の進捗及びその評価 (2) シティセールスの必要性 (3) PM2.5への対応
- 2 子育て・教育政策について (1) 子ども・子育て支援新制度への取り組み (2) 小中一貫教育への対応
- 3 学校再編後の跡地利用と地域コミュニティについて

市長の政治姿勢について

問 本市の定住政策として医療・介護の充実等に特化したシティセールスが必要だと考えるが。

答 病床数や介護老人施設定員数の指標は高く、総合的にバランスの取れたまちづくりを行いたい。

問 手鎌・吉野・三池・勝立・県

境地域をどう活性化していくのか。

答 地域の特性に応じ、生活に必要な都市機能を集積し、歩いて暮らせるまちづくりの実現を目指す。

小中一貫教育への対応

問 上記の考え方と方向性について聞きたい。

答 学校同士が連絡会の設置や合

同の研修会等を行い推進を図っており、今後も実態を踏まえた積極的な小中連携を推進したい。

学校再編後の跡地利用と 地域コミュニティについて

問 地域での活用を望む声が上がっているが、考え方を聞きたい。

答 地域の意見を参考に、学校再編整備推進会議で検討したい。



食育推進は『小学校の給食が入口』 目指せ地産地消

自由民主党議員団 徳永 春男 議員

12月17日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 大牟田市食育推進計画の中間評価を踏まえた今後の食育推進について
- 2 校区まちづくり協議会の事業運営に対する人的活動支援体制の見直しについて
- 3 大牟田市の農業実態から見た農業振興の基礎づくりについて
(1) 圃場整備可能地域に対する地元説明会の実施状況 (2) 高齢者の担い手問題と農業技術者の配置

大牟田市食育推進計画の中間評価を 踏まえた今後の食育推進について

問 地産地消は学校給食で努力していると思うが、食材の必要量等の情報は庁内で共有しているのか。

答 教育委員会で食材発注等を行っているが、農林水産部局との協議経緯はない。給食センター稼動に合わせ、JA等の関係機関等とも協議し、庁内の連携を図りたい。

高齢者の担い手問題と 農業技術者の配置

問 農業者の担い手不足と高齢化対策として、農業技術者の雇用の必要性和確保について聞きたい。

答 兼業農家や高齢農業者からの技術研修・きめ細やかな栽培指導へのニーズを踏まえ、営農指導機関等と連携を図り、協力体制の構築に向けて取り組みたい。

校区まちづくり協議会の 事業運営に対する人的活動 支援体制の見直しについて

問 同協議会の効果的な運営には事務担当員の配置は不可欠。どのように検討したのか。

答 地域の役員の皆さんへのサポートは必要だと認識しており、検討を続けている。来年度に向けて前向きに検討したい。



船津中学校グラウンドを サッカー専用グラウンドに

自由民主党議員団 光田 茂 議員

12月17日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
(1) 平成26年度一般会計予算見込みと事業への影響
(2) 地域振興に配慮した物品購入
- 2 教育行政について
(1) 小規模特認校のその後 (2) 学校長の権限 (3) 学校再編と跡地利用
- 3 スポーツ振興について
(1) 大牟田市スポーツ振興計画の推進

学校再編と跡地利用

問 27年度の船津中、右京中、延命中の再編後、船津中学校のグラウンドを、本市にはないサッカー専用グラウンドとして利用してはどうか。

答 サッカー場としての活用と、社会体育的な活用という観点も含め、総合的に検討をしたい。

大牟田市スポーツ 振興計画の推進

問 上記計画で、市民体育館等の老朽施設の計画的改修建て替えとあるが、現在の26年度に向けての計画を聞きたい。

答 (仮称)総合体育館の整備に向けた基礎調査を、総合計画第2期実施計画より1年前倒しで26年度事業として計上している。

地域振興に配慮した 物品購入

問 大手業者参入で低価格落札が続き、人材育成・技術継承の阻害が懸念される。地域振興のために福岡県等は最低価格の設定をしており、本市でも検討を。

答 地方自治法では物品は最低価格の設定はできないが、印刷物の設定は研究課題だと考える。

議会日誌 (10月～12月)

【10月】	
9日	市民教育厚生委員会
18日	議会報編集委員会
25日	議会改革特別委員会
【11月】	
8日	各派代表者会、議会運営委員会
11日	市民教育厚生委員会
25日	市民教育厚生委員会
【12月】	
2日	各派代表者会、議会運営委員会
4日	市民教育厚生委員会、議会報編集委員会
5日	総務委員会、都市環境経済委員会
6日	議会改革特別委員会
9日	第4回定例会本会議〔開会〕
13日	第4回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
16日	第4回定例会本会議〔質疑質問〕
17日	第4回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
18日	総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
20日	各派代表者会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔採決、閉会〕、議会報編集委員会

インフォメーション

■ 次の定例会は2月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■ 傍聴のお知らせ

本会議・予算特別委員会は傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

■ 会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。2月中旬から閲覧できます。ホームページでも2月中旬から検索・閲覧できます。

訂正とお詫び

第186号(11月1日号)に下記のとおり誤りがありました。

お詫びして訂正します。

頁	箇所	誤	正
4	「平成24年度各会計決算の概要」表中(事業会計の見出し)	収益的収出	収益的支出
6	左上部分のページ数字下の青色の見出し	議案等の審議結果	代表質問



連載
おおむた自慢



九州大会に勝ち、都大路への手応えを感じた
…全国大会準優勝を大牟田高校駅伝部が振り返る

昨年12月22日の第64回全国高等学校駅伝競走大会において準優勝に輝いた大牟田高校駅伝部。故郷に凱旋しての報告会（12月25日）と、道の駅おおむたでのトークショー（12月28日）取材しました。

勝たせてあげたかった



赤池健監督

「強豪校と違い大牟田高校のメンバーは全国的には知名度もない。そこが大好きらしいし、だからこそ勝たせてあげたかった」と赤池健監督は静かに語りました。しかし、今回の準優勝が市民にどれだけの元気を与えたか計り知れません。「サポートのメンバーなど、チーム全員で勝ち取った結果。市民の皆さんの応援が、きつい時に僕達の背中を押してくれた」と、メンバーは口をそろえました。

プレッシャーを力に

「今年こそという市民の期待も大きく、プレッシャーは感じな

かったか」の問いに、監督は、「プレッシャーを感じさせてくれる雰囲気の中で頑張れるという喜びが大きい。今回の成績は、入賞できなかったこれまでの教え子たちも含め、毎日毎日、毎年毎年の積み重ねの結果です」と答えました。

今年は特別だった？

「何か特別な指導があったのか」の問いに、監督は「変わったことはやってない。ただ、走ることで外の清掃や片づけ・グラウンド整備などを助け合ってやり遂げるといふ力がしっかり身についたことはチームにとっても大事だった」、「彼らは、以前優勝していた頃のまじの雰囲気知らない。『勝つ』という感覚を持ちにくい中で勝負を意識するには、『九州大会で勝

つ』ことが大切だった。そしてそれができたことで、『都大路へ勝負にいける』という手応えを持てた」と振り返りました。

次のステージへ！

3年生たちは、「この悔しさを箱根駅伝で」、「次のステージで」、「感謝の気持ちを忘れず」と抱負を述べました。1、2年生も、「今年の悔しさを来年に」と練習に励んでいます。監督も「駅伝部の練習場は大牟田です。市内を縦横無尽に走っています。市民の皆さん、見かけたらどんでん声をかけて、子どもたちを励ましてください」と会場で呼びかけました。

過去には『2位の翌年にV』を3度達成しており、古豪のV奪還は後輩達に託されました。

全国大会での大牟田高校の成績

出場 回	大会	年	大牟田高の成績		優勝校
			タイム	順位	
1	10※	1959	2時間14分49秒	2位	西条農※(中国・広島)
2	16※	1965	2時間11分25秒	2位	福岡大大濠(福岡)
3	22	1971	2時間16分03秒	9位	中津商(旧中津東)(大分)
4	23	1972	2時間18分01秒	16位	世羅(広島)
5	25	1974	2時間12分08秒	2位	世羅(広島)
6	26	1975	2時間09分11秒	1位	大牟田(福岡)
7	27	1976	2時間09分57秒	1位	大牟田(福岡)
8	30※	1979	2時間13分04秒	14位	中京(旧中京商)(岐阜)
9	31	1980	2時間12分37秒	6位	中京(旧中京商)(岐阜)
10	37	1986	2時間08分46秒	9位	市船橋(千葉)
11	38	1987	2時間06分01秒	2位	埼玉栄(埼玉)
12	39	1988	2時間05分53秒	1位	大牟田(福岡)
13	40	1989	2時間06分12秒	4位	報徳学園※(近畿・兵庫)
14	41	1990	2時間06分48秒	2位	西脇工(兵庫)
15	42	1991	2時間06分47秒	1位	大牟田(福岡)
16	43	1992	2時間09分23秒	14位	西脇工(兵庫)
17	44	1993	2時間07分09秒	5位	仙台東(宮城)
18	45	1994	2時間07分28秒	6位	西脇工※(近畿・兵庫)
19	46	1995	2時間06分53秒	3位	西脇工(兵庫)
20	47	1996	2時間06分50秒	2位	報徳学園(兵庫)
21	48	1997	2時間04分35秒	2位	西脇工(兵庫)
22	49	1998	2時間05分24秒	2位	西脇工(兵庫)
23	50	1999	2時間06分51秒	8位	仙台東(宮城)
24	51	2000	2時間04分48秒	1位	大牟田(福岡)
25	52	2001	2時間06分07秒	7位	仙台東(宮城)
26	53	2002	2時間04分59秒	3位	西脇工(兵庫)
27	54	2003	2時間05分47秒	5位	仙台東(宮城)
28	55	2004	2時間08分00秒	22位	仙台東(宮城)
29	56	2005	2時間07分38秒	11位	仙台東(宮城)
30	57	2006	2時間06分32秒	10位	世羅(広島)
31	58	2007	2時間08分28秒	18位	仙台東(宮城)
32	59	2008	2時間06分39秒	10位	佐久長聖(長野)
33	60	2009	2時間06分57秒	13位	世羅(広島)
34	61	2010	2時間08分46秒	20位	鹿児島実(鹿児島)
35	62	2011	2時間10分31秒	32位	世羅(広島)
36	63	2012	2時間07分11秒	15位	豊川(愛知)
37	64	2013	2時間03分54秒	2位	山梨学院大付(山梨)

「大会回」欄の※は大牟田高が地区代表として出場
「優勝校」欄の※は地区代表として出場

今号の表紙画像は議論になった。本紙はまずは読者から手に持ってもらうことが大事だと考え、表紙の重要性を踏まえ「大牟田高校の駅伝」に。前評判は良いが大丈夫か？など議論しながらも、力走に期待し大会前だが全員一致で決定。結果はV写真とはなかったが堂々の準優勝。次につながるレースを展開し、大牟田の名を全国に広め、地元も歓喜で沸かせた大牟田高校の皆さんに感謝。議会だよりも次につながる紙面にしたい。(ヤマドリ)

編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】北岡あや

【委員】大野哲也 平嶋慶二 森 竜子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp